

平成 22 年度多摩美術大学校友会奨学生成果報告書

美術学部絵画学科油画専攻 3 年 吉野もも

本年度は、多摩美術大学校友会奨学金を賜りましたおかげで、美術活動に役立てることができました。深く御礼申し上げます。ここに私の 1 年間の成果報告をさせていただきます。

1、年間を通して

制作の面では平面の可能性をテーマに、より深い内容を求めて挑戦しました。そして作品を多くの方に知っていただくため、また自分のため、発表活動に力を入れ、昨年度よりも多くの展示に参加しました。

2、制作活動

平面の可能性をテーマに作品を制作しています。

平面でどこまでできるか、いかに平面を逸脱した絵画をつくれるかということに挑戦しました。そこで四角い既定の形だけでなく、不定形のキャンバスを使うことによって、またひとつ絵画という概念を越えられるのではないかと考え、「球体」「曲面」「立方体」という作品を制作しました。木材を加工し、パネルをつくったあとで、影に見えるよう描きました。



左から「球体」87×87 cm 「曲面」181×92 cm 「立方体」95×88 cm (5 点すべて) 油彩、アクリル絵の具、パネル

そして次は画面の中だけではなく、周りの空間も作品に巻き込もうと考え、「関係」を制作しました。37枚の不定形パネルから成るこの作品は、1つをとってみても空間が描かれていて、さらに全体をみると37のすべての形がつながって見えます。あいだの壁、作品の外の壁、さらには鑑賞者のいる空間までも巻き込む作品になっています。



△「関係」 油彩、アクリル絵の具、パネル 全体で300cm×200cm

3、発表活動

(平成22年度活動歴)

- 2010 7月「～展」情報デザイン・芸術学棟ギャラリー、多摩美術大学、東京
- 8月「～展」BankART Studio NYK、横浜
 - 「via art 2009 KURATA prize exhibition」シンワアートミュージアム、東京
 - 「etteda 2010」イアンギャラリー、ソウル
- 11月「ダダ展」多摩美術大学、東京
- 12月「via art 2010」シンワアートミュージアム、東京
- 2011 1月「etteda2010」トーキョーデザインセンター、東京
 - 「All For One For All」3331 アーツ千代田、東京
 - 3月「39artists 390pieces 3900yen」Gallery 工房親、東京
 - 3月「daylily project」森アートセンター ヒルズカフェ&スペース、東京
 - 5月「全然こわくない展」ギャラリーQ、東京 (予定)
 - グループ展 Gallery 工房親、東京 (予定)
 - 「LaLaport Tokyo Office Art Exhibition」ららぽーとオフィス、東京 (予定)

● 「via art 2010」

via art は「社会とアートをつなぐ」をコンセプトに掲げる、学生運営のアートイベントです。美術業界以外からも著名な方々を審査員にお迎えし、37名の学生アーティストを選抜した展覧会です。出展者として参加しました。



△会場の様子

△「曲面」「開扉」

● 「tetteda2010」東京巡回展

日本と韓国の美大生が合同で展示をするという学生運営での展示会です。昨年8月には韓国で展示をし、今年1月には東京、五反田にあるトーキョーデザインセンターで巡回展を行いました。私は韓国で展示したのと同じ作品を展示しました。展示期間中にはトークショー、作品講評会、日韓の学生どうしが話し合い発表するシンポジウムなど、様々なイベントが開催されました。



△2階から撮影した「包容」アクリル絵の具、キャンバス布（直径2m）

△会場の様子

● 「All For One For All」

多摩美術大学、武蔵野美術大学、社会人のチーム対抗で、平面、立体、映像、プロジェクト、パフォーマンスの部門に分かれて1人ずつプレゼンをします。審査員、お客さん、作家たちもそれぞれの作品に点数をつけ、対抗するという展示、イベントです。



△審査会の様子

△「関係」

●「39artists 390pieces 3900yen」

3月9日をサンキューアートの日にしよう、という開発好明さんの呼びかけにのり、恵比寿にあるギャラリー工房親で働く友人が企画をしました。39名の作家による、小作品390点を、1点3900円で販売しようという展示です。



△会場の様子

真ん中の10点が私の作品、「関係」アクリル絵の具、紙、パネル 27cm×29cm△

4、これまでとこれから

このように発表活動を多く行い、自分の作品と向き合う機会を多く持ちました。またたくさんの方の意見をいただくことができました。そうしてより深く作品に対する考えをつめていくことができました。

時期は未定ですが、個展を開催予定です。また卒業制作も控えています。4年間の集大成として、発表活動で得た経験を生かし、より進化した作品を制作していきたいと思っています。これからも頑張ってお参りますので、見守ってください。